



GOCCOPRO
×
ミントケース

1台で多様な名入れができる

若者に人気のミントケースも販促品として増えている。ゴッコプロのスクリーンマスターなら、カラフルな印刷、耐擦過性の強い電解マーキングのどちらでも使える。1台で多様な名入れができるのが強みだ。
(金属製。溶剤インク200Mで印刷／電解マーキング・200M)



GOCCOPRO 100 主な仕様

大きさ: 605(W)×650(D)×385(H)mm (使用時)
質量: 約35kg (マスターは含まず)
製版サイズ: 最小/10mm (長さ)×10mm (幅) 最大/800mm (長さ)×297mm (幅)
解像度: 600dpi×600dpi (穿孔密度1,200dpi)
製版時間: 約105秒 (製版長さ420mm, フレーム1[590mm]選択時)
理想価格: 120万円 (税別)
(納入設置指導料金: 25,000円、送料および引き取り料金は含まない)

金属には電解マーキング

販促業界で人気上昇中のステンレスボトルだが、金属にインクで名入れをすると擦れ落ちる恐れがある。ゴッコプロなら電解マーキングにも活用できるので、耐擦過性の強い名入れ方法として提案できる。
(ステンレス製。200Mで電解マーキング)

GOCCOPRO
×
ステンレスボトル



GOCCOPRO QS200 主な仕様

大きさ: 980(W)×720(D)×480(H)mm
質量: 約67kg (マスターは含まず)
最大製版領域: 420×620mm (A2ワイドサイズ相当)
最大枠サイズ: 580×780mm 最小枠サイズ: 260×260mm
対応枠厚: 20~50mm 解像度: 600dpi×600dpi
製版時間: 2分以内 (A4サイズ) 理想価格: 178万円 (税別)



GOCCOPRO
×
保冷バッグ

かさばる形状にも印刷可能

お弁当ブームで注目が高まっている保冷バッグはそのかさばる形状からゲームプリンターを使った名入れには不向き。ゴッコプロを使ったスクリーン印刷なら形状にとらわれず生産性の高い印刷が可能だ。
(ポリエステル製。水性インク・120Mで印刷)

GOCCOPRO
×
防水スマホケース

塩ビでも下処理が不要

厚物プリンターは素材によって下処理が必要だが、スクリーン印刷なら塩ビなどの合成樹脂にもしっかりプリントできる。下処理が不要な分、生産性も高い。
(塩ビ。溶剤インク・200Mで印刷)



大きな商材も手早く印刷

対象物の大きさに比べて印刷面積が小さい場合、厚物プリンターよりもスクリーン印刷の方が生産性の面で有利だろう。枚数が多くてもスピーディーにプリントできる。
(ポリエステル製。水性インク・120Mで印刷)

GOCCOPRO
×
巾着袋



GOCCOPRO
×
ラゲッジタグ



溶剤インクで革製品にも

皮革のような柔軟性のある素材に厚物プリンターを使うとインクによってはひび割れを起こす恐れがある。ゴッコプロなら溶剤インクを使ったスクリーン印刷も簡単、スピーディー。製版コストが安いので小ロットにも対応できる。
(皮革。溶剤インク・200Mで印刷)

GOCCOPRO
×
眼鏡クロス



特殊な化繊もOK

ゲームプリンターで化繊に印刷する際は下処理が必要で、プリント後の熱処理で変質する恐れもある。スクリーン印刷なら素材を選ばずプリント可能。特殊な化繊を使う眼鏡クロスにもOK。
(化学繊維。水性インク・120Mで印刷)

素材を選ばない

GOCCOPRO
ゴッコプロ100・QS200

強い!!!

生産性が高い

はノベルティに

お問い合わせは
理想科学工業株式会社
プリントクリエイティブ事業部
お客様相談室
☎ 0120-343-338
受付時間10:00~12:00 13:00~17:00
(土・日・祝日・夏期休業・年末年始を除く)
www.riso.co.jp/product/gocopro

※表記の「M」はメッシュ。数字が大きいほど目が細かい。

近年、企業などがブランドPRや販売促進のために配布する販促品に変化が起きている。ノベルティ、SPグッズとも呼ばれるこのアイテム。今までは廉価品に名入れをして大量配布するのが当たり前だった。例えば、ボールペンやふせん、クリアフォルダーなどを街頭や大型展示会で無差別に配る。しかし、そうやって世の中に販促品が溢れたことで、受け取る側はチープなグッズに辟易した。もはや安いボールペン一本で消費者の気を引くのは至難の業だろう。

そこで、最近では高単価で見栄えのする商材を、有望な見込み客のみに絞って配布する傾向が強まっている。中国など生産コストの安い国で量産された廉価品が無くなったわけではないが、国内で販促品の名入れをおこなうオーダーグッズ業者は多品種小ロットの名入れに対応していかなくてはならない。

ただし、あくまで販促品なので小ロットであっても低コストが求められる。数が少ないぶん製版代が割高になる、という言い訳は通りにくい。また多品種であるということは、名入れ対象物の素材も様々となる。中には厚物プリンターでは刷れなかったり、下処理が面倒な素材もあるだろう。スクリーン印刷なら様々な対象物にプリントできるが、従来の乳剤製版は暗室などの大がかりな設備が必要で、外注に頼むとコストと納期がネックになる。

そこでお勧めしたいのが理想科学工業のデジタルスクリーン製版機「ゴッコプロシリーズ」だ。ゴッコプロシリーズは乳剤などの薬品や水を使わない完全ドライ製版方式。暗室も水も使わずプリンター感覚でスクリーン製版が出力できる。しかも製版コストは1版あたり約900円(※1)。

コンパクトなボディに低コスト&スピーディーな製版能力を備えた「ゴッコプロ100」は汎用性が高い。マスターには水性、溶剤の両インクに対応(※2)する「RISOデジタルスクリーンマスター」を使用しており、Tシャツやトートバッグなどの布製品をはじめ、溶剤プリントやガラスエッチングまで多種多様な素材に対応できる。金属素材へはインクによる印刷以外にも、電解処理で刻印する「電解マーキング」が使えるのも強み。レーザー加工機や金属彫刻機まで導入しなくても加工のバリエーションが増やせる。

多版刷りや大判プリントが必要なユーザーにはハイエンドモデルの「QS200」がお勧めだ。ノベルティは小さいものが多いが、小さいものになるほど多色刷りの精度が求められる。QS200なら製版位置の精度が高いため、多版刷りの位置合わせも正確におこなえる。最大製版領域はA2ワイドサイズ(420×620mm)で、ウエアプリントならTシャツからブルゾンまでほとんどのニーズに対応えられるだろう。製版が低コストでスピーディーにできるから、試作品も作りやすい。その点でもゴッコプロシリーズは、これからの販促品づくりの強い味方と言えるだろう。

※1 ゴッコプロ100、200メッシュのマスターを使用し、製版長さ420mmで出力、フレーム1[590mm]を選択した場合。
※2 必ず事前に適性テストをおこなってからご使用ください。